

## 2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 豊橋中央高等学校 ] 担当教諭名 [ 高倉 嘉男・鈴木 徹行 ] ( 2年A組 35名 )

相手国・地域 [ 台湾 ]

海外学校名 [ National Shanhua Senior High School ] 担当教諭名 [ Chui-Wei Yang / Hsiu-Hsien Mao ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	修学旅行事前学習	4
	HR	修学旅行事前学習	4
	学校行事	修学旅行	4

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	地震と自然災害
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	相互の知見を合わせて地震や自然災害に立ち向かい、防災または減災をする。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
過去2年間、テーマを「文化」「祭り」「ランドマーク」などの、比較的取り組みやすいものとしてきた。今回は「自然災害」という、より抽象的なテーマを設定し、探究と図像化の難易度を上げた。	台湾と日本で協力して自然災害に立ち向かうイメージを壁画に込めたかったが、自然災害を防ぐこと自体が現代の技術で完全には困難で目標が大きすぎ、協力のイメージを創り上げることができなかった。絵の芸術性も向上させることができなかった。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
最初の頃は台湾のことをよく知らないし、英語も苦手だし、相手と上手くコミュニケーションが取れるのか不安なようだったが、Skype 会議などを経て、積極的に言葉を発すれば、それなりにコミュニケーションが取れることが分かったようだ。それ以降は台湾のことを自主的に調べるようになった。	生徒たちが相手とコミュニケーションを取っていく中で、普段教室の中では見せない一面をいくつも見せるようになった。そんな生徒たちの様子を見ていて、このアートマイルを通して自分自身に少しずつ自信が持てるようになってきたと感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	お互いの自己紹介を英語で交互に行った。	Skypeを通して英語で自己紹介をする行為は生徒にとって初めてのことで、緊張している人が多かったが、楽しく交流することができた。	総合1 HR1
共有 テーマ学習	10月	お互いの国の自然災害について発表をし合う予定だったが、機材の不調により、台湾側の発表のみで終わってしまった。	相手側の英語を聴き取るのが難しく、ヴィジュアルのみで理解せざるを得なかった。機材の不調により集中力が切れてしまったのも残念だった。	総合1 HR1
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	フォーラムを通じて壁画のデザインを固めて行き、Skype セッションの日にそれぞれのパートの大まかなデザインを発表し合った。日本側の自然災害の発表も行った。	デザインの考案を受け持った生徒が様々な案を出してくれた。相手校のデザイン案の完成度がとても高かったので、それに負けなようにと案を練っている姿が印象的だった。	総合1 HR1
創造 壁画制作	12月	4日間かけて壁画を制作した。美術の先生の指導の下に下書きをし、その後は芸術部の手助けを得ながら、色つけを行った。	生徒が自分たちで分担箇所を決めて、協力して壁画制作に取り組んだ。皆でひとつの絵を完成させていく過程を楽しんでいた。	午前中授業期間の 午後を利用
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	2月に修学旅行で相手校を訪問し、完成した壁画を鑑賞した。壁画を持ち帰り、3月には全校生徒の前で披露して、取り組みを発表した。	Skype で交流してきた相手校の生徒たちと実際に顔を合わせたことにより、最初は少し緊張していたものの、すぐに打ち解け、楽しむことができた。	修学旅行 4

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	日本で起きた災害を振り返り、復興に努力する人々の姿に触れて、改めて日本の良さを実感した。
異文化を理解する力	5	文化祭の模擬店で台湾料理にチャレンジするなど、積極的に台湾の文化について理解しようとしていた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	日本で起きた災害を調べる時に、インターネットを有効活用し、効率よく情報収集をしていた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	Skype 会議の時に、相手の発表を真剣に聞き、自分たちも英語で自信を持って発表できた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	どのようにすれば、絵を短期間で完成させることができるのか、しっかりと意見交換しながら、絵を作成することができた。
主体的に考え行動する力	4	最初はやらされていたが、途中からは自分たちでアイデアを出し合いながら絵を完成させた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	仲間と役割分担をして、1週間はかかるだろうと思っていた絵が4日間で完成した。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	お互いの国の災害や言い伝えについて、絵を通して共通認識することができた。グリーティングカードでの交流もできた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	5	修学旅行先で完成した絵を見たときの、本当にうれしそうな、一つのことをやり切った満足そうな顔は忘れられない。